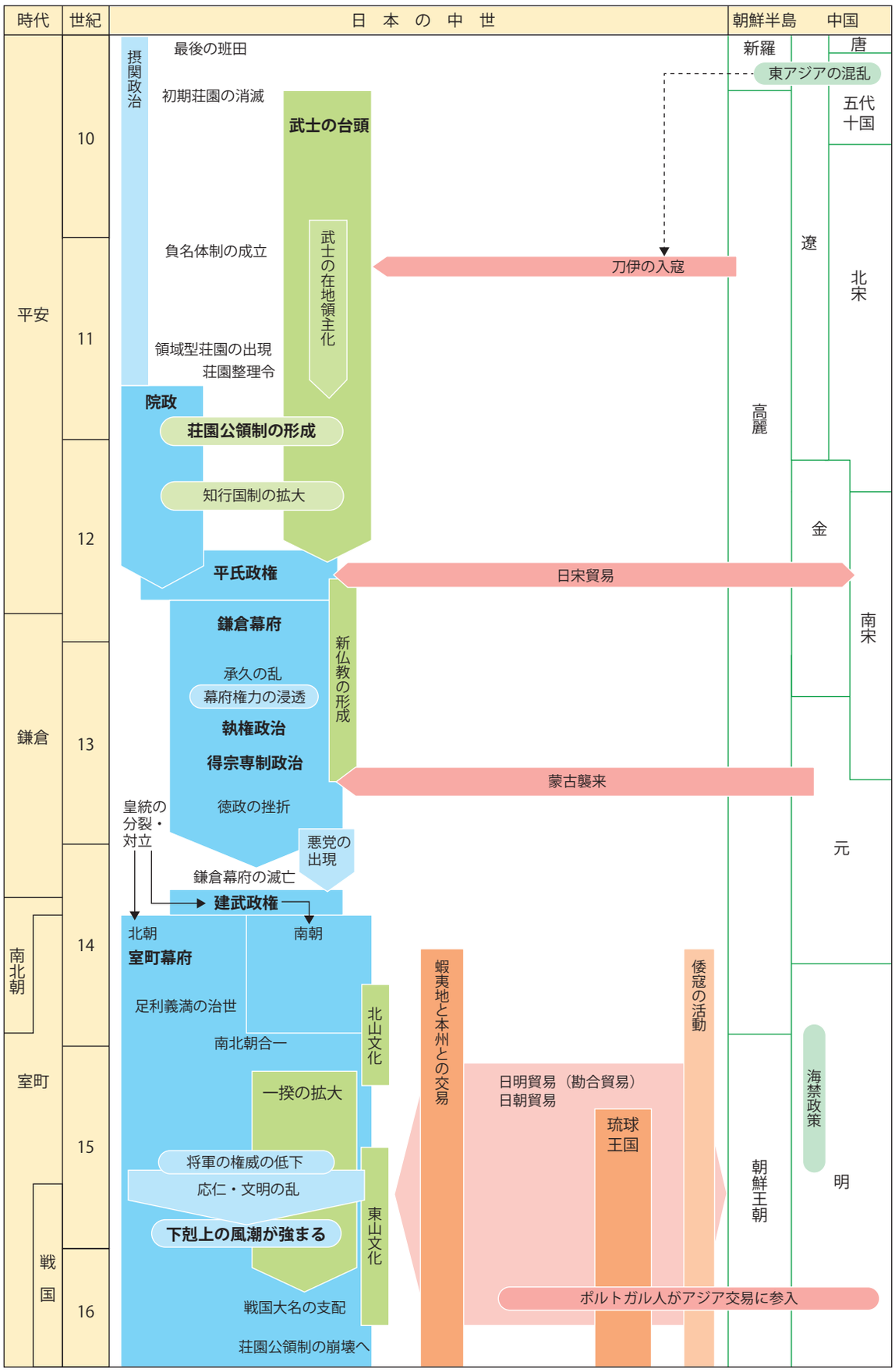
時代
世紀
日本の中世
朝鮮半島
中国
平安
鎌倉
南北朝
室町
戦国
10
11
12
13
14
15
16
摂関政治
最後の班田
初期荘園の消滅
武士の台頭
武士の在地領主化
負名体制の成立
領域型荘園の出現
荘園整理令
院政
荘園公領制の形成
知行国制の拡大
平氏政権
鎌倉幕府
承久の乱
幕府権力の浸透
執権政治
得宗専制政治
徳政の挫折
新仏教の形成
悪党の出現
鎌倉幕府の滅亡
皇統の分裂・対立
建武政権
北朝
南朝
室町幕府
足利義満の治世
南北朝合一
北山文化
一揆の拡大
将軍の権威の低下
応仁・文明の乱
下剋上の風潮が強まる
東山文化
戦国大名の支配
荘園公領制の崩壊へ
新羅
東アジアの混乱
刀伊の入寇
日宋貿易
蒙古襲来
高麗
蝦夷地と本州との交易
倭寇の活動
日明貿易（勘合貿易）
日朝貿易
琉球王国
ポルトガル人がアジア交易に参入
朝鮮王朝
唐
五代十国
遼
北宋
金
南宋
元
海禁政策
明